

100 Gbps 伝送装置 製造効率の向上

MT1100A
ネットワークマスタ フレックス



今日の通信ネットワークは、モバイル通信データの急増により広帯域化が求められ、コア・メトロネットワークには100 GbpsのイーサネットやOTNの実装が急速に進んでいます。これにともない、100 GbpsのWDM、スイッチ、光トランシーバモジュールの製造が急速に進んでいます。ネットワークマスタ フレックス MT1100Aは、伝送装置の検証用トランスポートテスト機能を1台に4ポートまで実装でき、SCPIリモートコマンドを使用した自動テストにより、伝送機器の検証作業を効率化します。また、ポート単価を抑えることができ、設備投資の効率化にも貢献します。

MT1100Aは、従来から最新までの通信ネットワーク技術に1台で対応します。用途に合わせた3種類のモジュールのうち、2つのモジュールを同時に実装、動作でき、1.5Mbpsから100Gbpsの通信ネットワークや伝送装置の研究・開発、製造、開通・保守での伝送試験を1台でサポートします。12.1インチの大型カラー液晶、見やすく分かりやすい画面表示や、タッチパネルによる操作、遠隔地からのインターネットを経由しての操作（リモートGUI機能）などの多彩な機能を備え、検証作業の効率向上に貢献します。



主な特長

- オールインワンのトランスポートテスタ
1.5Mbpsから100Gbpsまでサポート
OTN、イーサネット、CPRI/OBSAI、ファイバチャネル、SDH/SONET、PDH/DSn
- OTN試験（イーサネット、CPRI、ファイバチャネル、SDH/SONETクライアント信号）
- 使いやすく分かりやすいGUIメニュー
- 全レートにおいて最大4ポート同時測定
- CAUI、XLAUI電気インタフェース（エクステンダオプション使用）
- WLAN*/Bluetooth*/LANとの接続
- 試験結果をPDF、CSV、XMLでレポート生成
- リモートGUI操作（VNC、専用GUI操作ソフト）
- リモートコマンド操作（スクリプト、イーサネット、WLAN、GPIB）
- 持ち運びが容易な可搬設計
- 最大の投資効果を可能とするモジュール型プラットフォーム

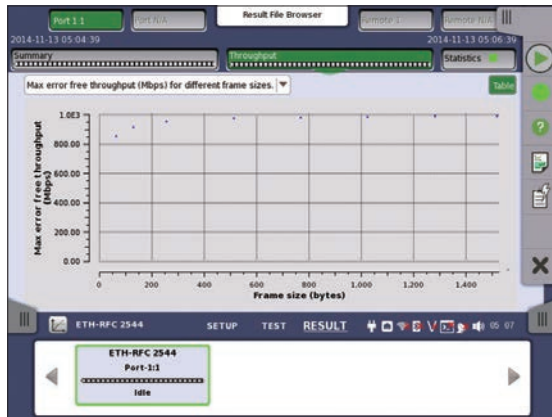
主なアプリケーション

- モジュールの組み合わせにより、1.5Mbpsから100GbpsまでのOTN、イーサネット、CPRI/OBSAI、ファイバチャネル、SDH/SONET、PDH/DSnに対応
- RFC 2544テストによる伝送機器のパフォーマンス試験
- しきい値設定、合否結果のカラー表示
- SCPIリモートコマンドを使用した自動繰り返しテスト
- イベントログ
- VIPによる光ファイバ端面チェック

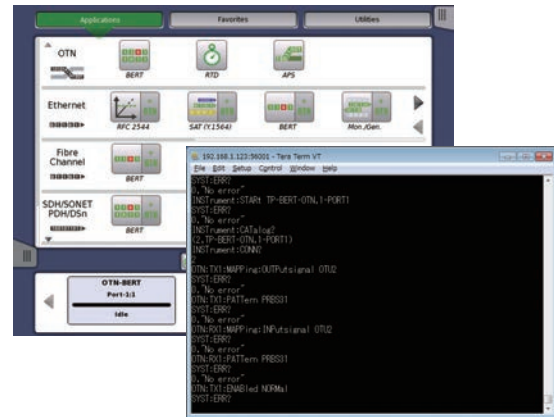


推奨モジュール：MU110012A x 2（40Gbps/100Gbps、4ポートの場合）

*：米国、カナダ、日本、全EU加盟国を含む、認定を受けた国・地域で利用可能です。最新情報については、アンリツにお問い合わせください。



RFC 2544テストによる伝送機器のパフォーマンス試験



SCPIリモートコマンドを使用した自動繰り返しテスト

試験モジュール

- 10G マルチレートモジュール MU110010A
最大2ポート：1.5Mbps～10Gbps（SFP/SFP+、RJ45、BNC、RJ48、バンタム）



- 100G マルチレートモジュール MU110011A
最大1ポート：40Gbps（CFP）、100Gbps（CFP）
最大2ポート：10Mbps～40Gbps（QSFP+、SFP/SFP+、RJ45）



- 40/100G モジュール MU110012A
最大2ポート：40Gbps～100Gbps（CXP、QSFP+）



Bluetooth®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、アンリツはライセンスに基づきこのマークを使用しています。